

上映中は



お静かに

携帯電話は
マナーモードのご協力をお願いします。

文教大学竹林ゼミナール主催

竹林ゼミ
卒業制作
発表展

竹林ゼミ生によるオリジナル作品を上映

2025年2月11日
シアター・イメージフォーラム

TIME TABLE

11:30 3年生課題作品 上映

13:25 休憩

14:30 4年生卒業制作作品 上映

16:20 上映終了

幹太

須田 幹太



自分の本当の気持ちと、実際に表に出している事。
年齢を重ねると共にそのズレは大きくなっていると感じていて、それを映像と音で表現しました。

ひびに触れて

富安 真優



高校の頃スポーツ留学に行った友人に、今何を目指し、どんな取り組みをしているのか取材した映像になっています。ぜひご覧ください。

花に願って

新田 花胡



「私はどんな花を咲かせているのだろう」
その言葉を始まりに自身が持つ感情や葛藤を花と色を元に描いた作品です。
自分の花は色はどうだろう
そんな事を考えて見て頂けたら嬉しいです。是非ご覧ください。

見えない宝物

林 日菜



母が一昨年入院していた実体験から自分が得たその当時の葛藤や気付かされた大切なものについて映像で表現しました。
是非ご覧ください。

夢色の精魂(アニミズム)

本田 幸大



年に一度の竹林ゼミ上映会。
本田やエルフ達の前にアムールが現れ、一緒にメモリーを繋いで映像データを作っていきます。
ところがある夜、映像データが壊れてしまい……
命を吹き込み、奇跡を起こそう！

かせで誇りで

渡辺 純



双子で生まれ育ち感じた喜びと不快感、現在までの感情の変化を表現しました。
見る人が自分の何かに置き換えて少しでも共感してもらえたらいいなと思いました。
是非ご覧ください。

潮 -ushio-

蒲原 祐香



現在、多様に化する妊娠や結婚に対する価値観。
妊娠に対して拒絶を示す主人公が、月経が遅れたことで孤独に
苦しむ様子を描きました。
是非ご覧ください。

いつも

生江 ころこ



普段は気にせずバイトしたり学校に行ったり過ごしていますが、
映像にすることで普通の毎日もキラキラして見えることを意識して
制作しました。

ささやかな灯火

近藤 悠仁



「自分はなぜ生きているのだろうかー。」
誰もが、人生で一度は抱く“生きる意味”への迷い。
そんな心に差し込む、小さな灯火の瞬間を描きました。

パズル

宮内 優



自分の性格や物事に対する考え方に悩む日々を映像で表現しました。
心の葛藤やそれを受け入れる過程について見ていただけたら
嬉しいです。是非ご覧ください。

ヒカリインマイヘッド

清水 空



「光」とは「漂い」ではないかと思います。
長野で撮影した美しく素晴らしい景色を堪能してください。
自分にとってかっこいいと感じることを無我夢中で追い求め
ました。

光

山形 祥真



大学で理不尽な嫌疑をかけられた品川は心に余裕をなくしてしま
った。彼女の怜に悟られまいとするも噂は広まってゆく。
大学生の先の見えない不安が肥大していく様子を、光が遮断され
闇が広がる印象に描きました。

まだ、大丈夫。

鈴木 海澄



コーヒーが好きなある男の何気ない日常。彼自身は何不自由なく
幸せに暮らしているつもりだったのだが。。

identity

遠山 実咲



「あなたっぽい」と言われることに違和感を覚え、
「私らしさ」とは何かを見つめ直して制作した作品です。
是非ご覧ください。

特別上映作品

朗らかに

清水 空

山形 祥真



彼女は休みの日散歩に出かけた。
雨が降り始めるなか青年2人との出会いを通して、
彼女の心境は変化する。
歩くこと、会話をすることで人は変化してゆく、
或いは心を取り戻す。

18期生 作品

Nagareru

伊藤 若那



認知症の祖母おおまと、おおまを支える祖父の
静かな2人暮らし。
冷たい埃が溜まる静かな暮らしの内面には、記憶と葛藤が。

としよの羊、 安達 真楓



2人の羊飼いと、1匹の羊。
平凡に、幸せな暮らしを送るはずだった。
長い間、有耶無耶にしてきた問題に学生生活最後に
向き合った作品です。一冊の本を読む感覚で…
是非、ご覧ください。

今、ここ、私

池上 唯菜



私が幼い頃から就職活動を終えた現在までに感じてきたことを
作品にしました。
“自分の好きなこと”について改めて考えるきっかけになれば、
嬉しいです。ぜひご覧ください。

ヒーロー

池田 功平



社会に防災知識を普及するべく、学生たちが中心となって
立ち上げられたNPO法人。
その代表者にして、友人でもある彼の人物像に迫りました。

もっと…

井上 棕介



もっと一緒に色々な場所に行きたかった。
もっと話しがしたかった。
もっと一緒にいたかった。
その想いを表現してみました。

串屋と子供と僕

佐藤 勇吾



子どもたちの「夏休み問題」という課題に対して、
イベントを行った友人に密着しました。
子供達の無邪気な笑顔が映える作品になっています。
是非ご覧ください。

19期生 作品

過去への戻り方

赤尾関 涼生



「あの時こうしておけば…」なんて考えるとキリがありません。
後悔した過去をやり直すことが出来たとして、
それが=幸せな未来とも限りません。
あまり考え過ぎずに生きたいですね。

ありのように

阿部 琴羽



人生の岐路に立っている現在の自分を色々なもので
重ね合わせて映像で表現しました。
是非ご覧ください。

私を変えた新たな一歩

荒井 海輝



事故で不自由になった大学生が困難を乗り越え、
前を向いて歩む姿を追いました。是非ご覧ください。

映し出された後悔

大森 優輝



主人公が不思議なカメラを押し付けられたところから物語が始まる
カメラの画角の中にいないと存在が薄れる世界に迷い込んでしまった
主人公は脱出できるのか

独白

攪上 緋音



私とは何か。時々出てくるこの問いは私の中を何度も駆け巡り
居なくなってくれない。そんな葛藤と不安と少しの希望を
織り交ぜた私の独白。